

マーケティング研究
—新津重幸教授の研究業績を基に—

Marketing Research:
Based on Professor Shigeyuki Niitsu's Research
Achievement

新津重幸研究室

Shigeyuki Niitsu laboratory

坂田利康、阿部郁雄、鷲尾和紀、熊倉雅仁、任意飛

Toshiyasu Sakata, Ikuo Abe, Kazunori Washio,
Masahito Kumakura, Ren Yifei

学校法人高千穂学園・理事、高千穂大学商学部・大学院経営学研究科経営学専攻教授の新津重幸教授が2018（平成30）年3月31日をもって本学を退職され、名誉教授に就任。その在職期間は38年に及び、これまで多くの学部ゼミ生（約1,500名）や大学院の修士課程・博士後期課程の修了者（約100名）を輩出してきた。彼ら・彼女らの多くが管理職、専門スタッフ、起業家などとして、そしてグローバルに活躍している。新津教授の教育哲学である“マーケティングとは何か”、“実務に貢献できるものか”は私たちに繰り返し教え込まれてきたものである。

新津教授が2017（平成29）年に『日本型マーケティングの進化と未来：ビジネスパラダイムの変革とマーケティングの戦略的変革』（白桃書房）を上梓している。同著書はこれまでの日本におけるマーケティング研究の変遷や、日本のマーケティングに貢献してきたモデルやコンセプトが数多く紹介されている。そこで本稿はこれまでの新津教授の学術と実務の両視点から行われてきた研究実績からさまざまな知見を頂いてきた。それらを基に、マーケティング研究を論じながら、新津教授の功績に感謝の念を表したい。